



小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /
植物の花と実 / 理解シート

じこく 花がさく時刻は、決まっているの



たいていの花が、おおよそ決まっているよ。でも、雨などの
暗い日や、気温の変化などで、さく時刻はちがってくるのさ。

花の種類によって、早朝、昼間、夜など、さく時刻は決まっている

花は、種類によって朝早い時刻にだけさいている花や、1日中さいている花、夜にさく花などがあります。いちばん早起きはアサガオで、真夜中の1～5時ごろ花が開き、午前9～12時ごろには花はしぼんでしまいます。カボチャは朝5時～10時ぐらいの間、イネの花はもっと短くて、9時～11時の間だけさいています。

セイヨウタンポポは、朝6時ごろから夕方までさいています。オシロイバナは、午後3時すぎにさきはじめ、次の日の朝、8～10時ごろ花をとじます。オオマツヨイグサやヨルガオ（ヒルガオ）などは、午後5時ごろさきはじめ、明け方の4時ごろ花をとじます。

花がさく時刻と、その花粉を運んでくれるこん虫の活動時間は、たいてい、ぴったり合っていることが多いものです。

花のさく時刻は、明るさや気温などでちがってくる

花のさく時刻が何で決まるのかは、花によってちがっていて、わかっていないことがたくさんあります。アサガオは、気温が低くなるほどさきはじめる時刻が早くなります。また、10時間ぐらい暗さにあわないと、花はさきません。つぼみを暗い所に置きつづけると、4日後ぐらいから24時間ごとに花がさくようになります。

チューリップは、温度が上がれば花がさき、下がれば花をとじます。温度が一定で変化しない所に置くと、あたたかい所でも、花が大きく開くことはありません。

オオマツヨイグサは、夕方、強い光を当てるとさく時刻がおそくなります。タンポポは、雨の日やくもっていて光の弱い日は、昼間も花をとじたままになります。

花のさく時刻を観察するときは、気温や天候、明るさも調べないといけないのね。

